

令和7年 10月22日

都内各中学校長 様
都中理会員 様

東京都中学校教育研究会
会長 本杉 貴保
東京都中学校理科教育研究会
会長 鶴澤 伸一
(江戸川区立松江第四中学校長)
同 広報部長 浅香 英典
(足立区立扇中学校校長)

第7回都中理 開発教材コンテストのご案内

会員の皆様には日頃より都中理の活動のご協力いただきありがとうございます。

都中理では、会員の皆様の日頃の教育活動に協力できればと思い、開発教材コンテストを実施いたします。

都内には、1800人もの国公立中学校理科教育に関わる理科の先生方がいらっしゃいます。皆さん日々の教材研究等に尽力されているおかげで、中等教育における日本の理科教育は世界でもトップと言える成果を挙げています。毎年定期的に都内各地区で行われている研修会や研究授業や個人の研究・研修によって、理科教員一人一人の指導力の向上が着実に図られているというものの世界的には稀なことです。教材や指導法に関する情報交換やお互いの疑問を解決し合うということが組織的に行われているというのも素晴らしいことです。都中理でも微力ながら会員皆様のお役に立ちたいと努力しているところです。

今年度も、先生方の英知を都内の理科教員のためにご紹介いたしたく、上記コンテストを実施することにいたしました。

各地区代表理事、各校の理科主任の先生には、ぜひ、このような機会があることを皆様にお知らせいたたくと同時に、オリジナリティーあふれる素晴らしい教材（ソフトも含む）を開発し、生徒の理科への興味を大きく膨らませ、理科好きな生徒をたくさんご指導いただいている先生のご応募をお待ちしています。またそのような先生（グループ応募可）をご紹介いただきたく、お願い申し上げます。

素晴らしい教材・指導法を実践されている先生、もしくは、具体的には知らなくても工夫を凝らした授業を展開されているといううわさのでも結構ですので、そんな先生を下記までご紹介ください。よろしく願いいたします。（自薦他薦を問いません。グループ参加も可能です。）ご本人へ具体的にコンテストへの参加が可能か等については都中理事務局員担当より直接オファーや相談をさせていただきます。

（令和7年12月26日の都中理研修会にて開催予定）

<審査の4観点>

- 1 生徒の興味・関心を高める教材である。
- 2 生徒の理解が深まる教材である。
- 3 どんな先生にも使いやすい教材である。
- 4 今までにないオリジナルな教材である。

問い合わせ：荒川区立第三中学校 主幹教諭 上田 尊（都中理広報部 教材コンテスト担当）

manjutar326@gmail.com

03-3801-5808

申込 Google フォーム

出展者本人または、推薦する先生がいれば
打ち込めるようになっています。



第6回大会の実際



実演して参加者に説明します。

実際に教材に触れます。



ICT教材を作ってスクリーンに投影する先生も。



ワークシートやカード教材など、そのまま使える教材を配布したり、URLを教えてください。



充実した資料も配布されます。



自作簡易偏光拡大鏡

中学1年では火山岩と深成岩の観察を通して共通点や相違点があること、それらがそれぞれの成因と深く関わっていることを理解させる。しかし、初めて岩石を観察する生徒にとって組織の違いを見出すことは大変難しい。そのため偏光顕微鏡や拡大鏡を用いて岩石薄片プレパラートを観察する方法が知られているが機材が高額なため授業での観察に必要な台数を揃えることは難しい。そこでタブレット端末のカメラを利用し、岩石薄片の観察と撮影を簡単にできる自作の簡易偏光拡大鏡(図1、2)を開発した。タブレット端末で撮影・記録が簡単にでき(図3、4)、また生徒同士での観察結果の共有が容易になる。



図3 完成した様子



図1 使用している様子

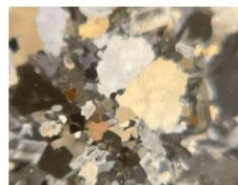


図2 等粒状組織の観察結果

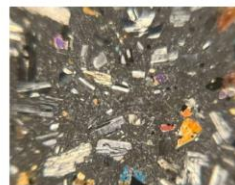


図4 斑状組織の観察結果

第6回最優秀賞

BB弾を粒子モデルに活用しませんか??

小金井市立東中学校

沖山 篤史 先生

「授業で使える」を皆で共有しましょう。優秀賞を狙う先生もちろんいますが、子どもたちのために、興味関心を高め、知識・理解が進み、科学的な思考が養われる教材を皆で紹介し合うことができます。ここで受けたアドバイスがさらに進化を遂げる教材になることも！ぜひ出品者としてご参加ください。また、知り合いの先生がいれば紹介していただけると幸いです。問い合わせ先: 荒川区立第三中学校上田 尊 03-3801-5808 mail: manjutaro326@gmail.com または Google フォーム <https://forms.gle/Q2z4D3jn4emyP3mx5> に紹介者を送信。

第7回都中理開発教材コンテスト実施要項

1 目的

- (1) 開発教材を一同に集めることにより、共に啓発し合い、理解を深める。
- (2) 新たな発想をもって指導の改善・教材の開発に臨む意欲あふれる人材を発掘・奨励する。
- (3) 開発教材を通し、地域の壁を乗り越えて、会員相互の関係性を深める。

2 審査・会場・表彰の日程

- (1) 審査：令和7年 12月26日（金）午後 冬季研修会参加者等の投票
- (2) コンテスト当日会場 練馬区立練馬中学校
- (2) 表彰：令和7年 2月27日（予定）都中理役員会・理事会にて。欠席者は郵送。

3 提出

「独自もしくはオリジナリティーあふれる教材・指導方法や改善された優れた教材や指導法」

- (1) 一人1点のみ。教材の概要紹介文と写真（A4 2枚以内） ☆グループ応募可

※ 審査日当日は教材本体を持参

（教材を持参しにくい場合（生物やサイズの関係）は写真（A4 2枚程度）代用可）

- (2) 締め切り 令和7年 11月21日（金）原稿必着（紙またはデータまたはグーグルフォーム）
- (3) 提出先 荒川区立第三中学校 主幹教諭 上田 尊（都中理 広報部 教材コンテスト担当）
03-3801-5808 majutaro326@gmail.com

4 表彰

第1位から第3位を表彰 副賞を贈呈します。

5 審査

当日の参加者や委員等の投票による

6 教材について

- (1) オリジナルの開発教材や改善事例（デジタルベースでの教材・ソフトウェアを含む）
- (2) 複数の教材や市販品の組み合わせや既成の教材・市販品の利用による開発・改善。
- (3) 都中理研究会誌及び都中理 HP に教材の写真と紹介文を掲載する。
- (4) 開発された教材は、教材会社のカタログに掲載される可能性がある。

【申し込み・問合せ】

荒川区立第三中学校 主幹教諭 上田 尊（都中理 広報部 教材コンテスト担当）
03-3801-5808 manjutaro326@gmail.com

第7回都中理開発教材コンテストの申し込み

「第7回都中理開発教材コンテスト申込書」にご記入の上、
下記送付先にFAX又はメールまたは、
フォーム(<https://forms.gle/ebY6x7W4KcmP1fFS8>)でお送りください。

最終応募締切：令和7年11月21日（金）

送付先：荒川区立第三中学校 上田 尊（都中理 広報部 教材コンテスト担当）

FAX番号： 03-3801-9819

アドレス： manjutaro326@gmail.com

第7回都中理開発教材コンテスト申込書

連絡先電話番号	
アドレス	@
単元名・開発教材名等	
内容（概要としてどんな力が身に付くか、効果的な使い方、魅力など）	
可能な提示形式（○印） 複数回答可	発表（実物展示 ・ 演示実験 ・ 参加者体験 ）
	紹介（ 開発者本人 ・ データや写真のみ ）
	※通常の実験器具は会場校で準備可能
その他	

Googleフォームの場合は次のQRコードから
申し込みができます。

